

第36回 北信越高等学校新人 バasketボール選手権大会  
女子 三位 決定戦 結果

東京学館新潟 74  $\left( \begin{matrix} 21 & - & 13 \\ 12 & - & 15 \\ 17 & - & 6 \\ 24 & - & 21 \end{matrix} \right)$  55 東海大三

テーブルスコア

A 東京学館新潟		得点	野投(本)		自由投(本)	反則	B 東海大三		得点	野投(本)		自由投(本)	反則
No	選手名		3点	2点			No	選手名		3点	2点		
	小林(真)	12	2	2	2	4		吉川	10	0	4	2	4
	長沼	11	0	4	3	2		山岸	5	1	1	0	2
6	車谷	0	0	0	0	1	6	池内					
7	野上	2	0	1	0	0	7	吉澤					
8	笹上	0	0	0	0	1	8	名取					
9	渋谷	0	0	0	0	0	9	上住					
	赤澤	12	1	4	1	3	10	清水					
11	大久保						11	倉科					
	小林(の)	16	0	8	0	4	12	柿澤(由)	0	0	0	0	0
	古寺	2	0	1	0	0	13	柿澤(育)					
14	式部	19	0	7	5	2	14	下条	2	0	1	0	0
15	加藤							今川	15	0	3	9	3
16	本浪							矢満田	16	0	8	0	4
17	鈴木						17	守谷	0	0	0	0	0
18	森林							秋山	7	1	2	0	3
合計		74	3	27	11	17	合計		55	2	19	11	16

戦評

女子の3位決定戦は東京学館新潟と、久々の1位リーグ進出に意気揚がる東海大学付属第三の対戦となった。

第1P. 序盤は互角の展開。東京学館はアーリーオフェンスから速いバスケットを仕掛け、対する東海大三はインサイドを攻撃の軸にバスケットを展開、共にチームカラーを生かした攻防となった。先手を取ったのは東京学館。1P. 終了間際赤澤がパスカットからの速攻で連続して得点し、21 - 13とする。第2P. に入ると、東海大三はメンバーチェンジでインサイドプレイヤーを投入し、徐々にリバウンドを支配。矢満田を中心に1ON1から得点を重ねて、東京学館に傾きかけた流れを引き戻す。33 - 28と5点差まで詰め、後半に望みをつないだ。

このまま両チーム共に我慢の展開かと思われた第3P. の5分過ぎ、突然東海大三の足が止まり、東京学館に走られはじめる。オフェンスも単調になり得点が伸びない。東京学館は長沼を中心にパスカットからの速攻が連続して成功、50 - 34と16点差をつける。第4P. は完全に東京学館のペース。インサイド、アウトサイド共に東海大三を圧倒し、付け入る隙を与えない。東京学館は控え選手を使う余裕をみせ、74 - 55で東海大三を下し、3位入賞を果たした。